



視点1 安全
 視点1-3 管路の老朽化による道路陥没事故を未然に防止します

1. 『湘南ふじさわ下水道ビジョン』での方針・目標

市域全体に張り巡らされている下水道管路は、下水を処理場や放流先へ送水する重要な役割を担っており、これらの老朽化による道路陥没事故発生や機能停止は、市民生活へ大きな影響を与えます。このため下水道管路の予防保全型維持管理を実施し、事故や機能停止の未然防止を図る必要があります。

方針・目標 【長期目標】	管路施設の長寿命化等対策（修繕・改築）により 道路陥没事故の未然防止に努めます
主な施策	1) 計画的点検・調査の実施 2) 計画的維持管理と情報管理の実施 3) 計画的修繕・改築の実施 4) 地震対策と連携した改築の実施

2. 第1期アクションプログラムの評価

平成28年度末現在、約1,595kmの下水道管渠が市全域に埋設されています。これらの管渠の標準耐用年数は50年とされていますが、藤沢市の下水道管渠の古いものは60年以上経過しており、管渠の腐食・破損やこれらに起因する道路陥没事故発生の危険性が高まっています。

第1期アクションプログラムでは「下水道長寿命化計画（南部処理区管路施設）平成28年3月」に基づき、下水道管渠の改築事業を開始しましたが、限られた財源の中で、改築事業量を上回って老朽化施設が急速に増大していくことが見込まれます。

このため、より効率的な維持管理と改築事業の実施が必要です。

	第1期アクションプログラムでの実施状況	評価指標	
		活動指標	効果指標
1) 計画的点検・調査	5年に1回の点検と、異常箇所や重要施設等の管路内調査を実施 		
2) 計画的維持管理と情報管理	清掃・補修等の維持管理を実施 施設情報・維持管理情報の一元化等の推進が必要 	長寿命化対策実施 管路延長 目標：約30km 実績：1km 	長寿命化対策実施率 目標：18% 実績：1%
3) 計画的修繕・改築	対策重点地区3地区のうち2地区と、その他、緊急度の高い箇所対策を実施しているが、改築工事は計画より遅れている 		
4) 地震対策と連携した改築	防災上の重要な幹線等は地震対策で耐震性能を有する更生工法を採用している 		
施策評価	管路の点検・調査等に時間を要したことから、長寿命化対策工事実施が遅れが生じている		

用語：修繕、重要な幹線、予防保全型維持管理



3. 第2期アクションプログラムの実施方針

第1期アクションプログラムでは、管路調査・診断に時間を要し、改築事業量が計画値を下回っています。しかし、今後も改築事業量の急速な増大が見込まれ、より効率的な維持管理と改築事業の実施が求められています。このため「⑤ストックマネジメント実施方針（管路）」を策定し、下水道管路施設全体の予防保全型維持管理及び改築のより一層の効率化を目指していきます。

【主な事業内容のポイント】

■ストックマネジメント実施方針（管路）の策定・実施

- ・点検・調査計画の再検討による点検・調査の効率化（①②）
- ・情報管理の効率化とリスク評価精度の向上（①④）
- ・リスク評価に基づくストックマネジメント実施方針の策定と効率的修繕・改築の実施（⑤⑥）

表1 「視点1-3. 管路の老朽化対策」の主な事業内容

主な施策項目	具体的な事業	種別	事業実施時期						
			29	30	31	32	33	34	
1) 計画的点検・調査の実施	①管路の点検・調査計画見直し	強化	→						
	②管路の点検・調査の実施	強化							→
2) 計画的維持管理と情報管理の実施	③下水道台帳（管路）の更新	継続							→
	④ストックマネジメントデータベース構築	強化							→
3) 計画的修繕・改築の実施	⑤ストックマネジメント実施方針（管路）策定	見直し	→						
	⑥管路の修繕・改築の実施	強化							→
4) 地震対策と連携した改築の実施	⑦地震対策による管路更生等の実施	継続							→

4. 第2期アクションプログラムの目標（活動指標と効果指標）

主な施策・事業の実施状況及び実施効果については、以下の活動指標・効果指標を基に、3年ごとに評価を行います。

表2 「視点1-3. 管路の老朽化対策」の目標（活動指標と効果指標）

施策項目	指標		第2期AP目標		備考 (実績)
			中間評価 (H31年度)	第2期AP (H34年度)	
管路の計画的点検・調査、修繕・改築	活動指標	長寿命化対策実施 管路延長	約9km (H29～31)	約18km (H32～34)	H28末 1km
	効果指標	長寿命化対策実施 率	6% (H31末)	16% (H34末)	H28末 1%

※活動指標の計算方法……長寿命化対策実施管路延長＝改築又は修繕を行う管路延長
 ※効果指標の計算方法……長寿命化対策実施率＝長寿命化等対策（修繕・改築）を完了した管路延長
 ÷緊急的に長寿命化等対策を必要とする管路延長（ビジョン期間内対策延長）×100（累計値）